

多品種・小ロット・QRニーズに対応する
業界初、ワンチャンバー“乾燥・セットマシン”

「ウルトラ乾太郎」の開発と販売について

小松精練(株)は連結子会社である染色機械メーカー(株)オノモリ(旧(株)小野森鉄工所・本年4月1日社名変更/資本金：2億9千万円、売上高：17億円、住所：能美郡辰口町上清水、社長 小野森守・会長 中山賢一)と共同で、業界では初めての、省スペース設計ワンチャンバー式の超小型・高性能の乾燥・セットマシンを開発いたしました。



先に開発のメーター染・ラボ専用の「乾太郎」に因み「ウルトラ乾太郎」のネーミングで、国内外の糸加工メーカー、編・織物メーカー、染色加工メーカー、原糸メーカーの加工研究所、全国の工業試験場をユーザーとして4月18日より販売を開始いたします。

「ウルトラ乾太郎」は省スペース設計の超小型でありながら、染色加工メーカーに導入されている本格装置(最低でも8チャンバーの大容量)より優れた性能と利便性を有し、織・編物のあらゆる繊維素材に適応、メーター染から、着分染、反染、疋染の乾燥・セットが可能です。

小型でありながら、生機セットから染色工程の予備・中間・仕上セットに対応し、量産機と同様に、製品の不必要なシワ・シボの発生を防ぎ、規格の幅や密度を調整して風合いや形状を保つという能力のレベルは変わりません。

新商品のプレゼンテーションやテスト販売等で消費市場の確実な反応をもとに、店頭販売商品の供給にもスピーディに対応出来るものです。

最近の店頭には製品染の商品が非常に多く出回っています。この傾向はファッションの流れとしても捉えられますが、アパレルメーカーが消費者ニーズの多様化と変化のスピードに対応し、商機を逸しないための一つの手段でもあります。時代は、まさしく少品種・大量生産時代の終焉を迎えたと言えます。「ウルトラ乾太郎」は、販売ロスを発生させずに、最適な商品を、適量、最適なタイミングで供給する体制を渴望する業界に寄与します。

(株)小野森鉄工所は4月1日より(株)オノモリと名称を変更し、小松精練のマザーシップのもとに業容の充実と拡大を目指します。

小松精練とオノモリは、日本の繊維産業発展のコラボレーターを自負、産地企業の更なる発展を期したいと「染料役者」「乾太郎」を市場に送り込んで参りました。「ウルトラ乾太郎」も時宜に合った製品として、活性化の原動力となるものと確信致します。

1. 「ウルトラ乾太郎」の特長

- ①ワンチャンバーの省スペース設計(設置面積2.8m×5.2m)
- ②大量生産装置と同様の布移動方式で自動追従装置により連続加工が可能です。
メータ、着分、反、疋の長さに対応する超小型です。
基本仕様は仕上げ幅90～180cmに対応します。
- ③熱風循環方式で温度は均一でムラがなく乾燥・セットが出来ます。
温度はデジタル温度設定装置により簡単に任意に設定できます。
温度範囲が広く汎用性があります。(120℃～200℃)
- ④オーバーフィードもボリューム一つで簡単に操作出来ます。(MAX5%)
- ⑤電気ヒーター使用で作業環境をクリーンに保ちます。

⑥ポリエステルをはじめあらゆる素材の編・織物に使用できます。

⑦紙管巻き取り装置で取り出し作業も簡単です。(オプション)

2. 「ウルトラ乾太郎」の販売計画

■販売開始

2000年4月18日

■販売計画

初年度 10台

次年度以降 20台の予定

■販売価格(出荷価格)

標準タイプ 890万円

■販売先

国内外の糸加工メーカー及び織・編物メーカー

国内外の染色加工メーカー

原糸メーカーの加工技術研究所

全国の工業試験場

本機は(株)オノモリに設置し、実際の操作で性能を確認したいユーザーに対応致します。

以上

BACK